



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 5. 28

3, 4年生用 No.15



卒学年のづく出せ修行と企業見学

づく出せ修行の申込期限が迫ってきていますが、卒業学年の生徒のづく出せ修行は基本的には「就職したい企業」もしくは進学希望者の場合は「将来就きたい仕事」といった観点に絞って応募した方がよいでしょう。特に**就職希望者は夏休み中は就職を希望する会社を何社か必ず見学にいかなくてはなりません**（見学していない企業を受けることは出来ません）。その際会社で指定した日時に見学に行かなくてはならないために、**就職の可能性の少ない会社へ単なる体験のつもりでづく出せで5日間参加すると、メインである就職希望の会社の見学が出来なくなる可能性が出てしまい本末転倒になりかねません。**

その意味でも**づく出せ修行を希望する場合は、出来るだけ就職を希望する会社に限定**しましょう。今年も求人を用意しているいくつかの会社で、づく出せも OK といわれているところが何社かありません。づく出せで頑張り会社で認めてもらえれば就職に繋がることもあり得ます。どの会社もづく出せ OK なのか担任の先生に確認し、早めに検討しましょう。ただし工業科指定というケースもありますし、学校推薦という建前上誰でもがどこの企業でも希望すれば受験できるわけではありません。校内選考がありますのでとりあえず希望する人は担任の先生に打診してみましょう。

今年の就職戦線楽観は禁物

今年長野県下の多くの学校で就職希望者が増加傾向にあります。先に上伊那地区でもかなりの数の増加があることをお伝えしましたが、例えば岡谷工業高校は昨年より5割増しの(84 →)122名が就職希望とのこと。岡工には上伊那地区からも少なからず行っていますので、この地域での就職希望者がさらに増えることになるでしょう。

また現在長野県内で**有効求人倍率は上伊那地区が一番少ない**ようです。20年くらい前までは長野県では企業からの求人が3万人くらいあったものが、現在は十分の一の3千人程度に落ち込んでいます。かつては7月に入ると企業の方々が進路室前に列をなして待っていましたが、今はその時期閑古鳥が鳴いているに等しい状況です。もはや**企業を選べる余裕がない**のです。

企業周りをしていると、「リーマンショック時より今年の方がひどい」ともられる企業もあります。これからの若者は本当に気の毒だと思いますが、会社からの求人が伸びないことにはどうしようもありません。高校生以上に大学生の就職難はさらに大変そうです。

就職試験本番に向け**地道な努力と対策を重ねたものみ**にしか幸運の女神は微笑んでくれないでしょう。皆さんも少し本気になり、もう一度気持ちを引き締め直して欲しいものです。



企業周りをしていて、「本当によい生徒を送ってもらい助かっている」といわれることが時々あります。それは必ずしも学生時代の成績とは一致しているとは限りません。入社後の本人の心構えとやる気でしょう。皆さんも是非そう言われる一人になって欲しいものです。

